

第1回黒部市総合振興計画審議会 会議録（全文）

日 時 令和3年11月25日（木） 午前9時30分～11時00分

場 所 黒部市民会館101会議室

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員及び専門委員の紹介
- 5 会長の選出
- 6 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画策定の諮問
- 7 審議事項等
 - (1) 副会長の指名について
 - (2) 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画策定の策定について・・・資料1
 - (3) 計画策定の体制及びスケジュールについて・・・資料2
 - (4) 市民アンケート結果の概要について・・・資料3
- 8 その他
- 9 閉会

○出席者

（審議会委員）

河村 隆志	山口 直次	伊東 高志	川本 敏和	中陳 義榮
森野 泰夫	濱田 政利	植木 真人	川端 康夫	平野 正義
坂井 英次	稲田 正道	松下 哲也	尾山 誠	高村 克宏
山本 覚	松井 浩規	菅野 宏美	前田 潤	村上 勝悦
永井 出	田村 豊嗣	堀田 美雪	古川 和幸	谷口 政芳
中西 誠	二本松 守	森下 泰行	松島 悟	島 匡宏
柳原 欣一	松田 賢悟	田村 登	伊藤 節子	村田 洋子
中村 和之	高柳 百合子	中田 哲二	荻野 弘文	橋詰 真知子
高椿 鮎美	舟崎 弘美	今西 悠太		

（専門委員）

林 利行	島田（代理）	西村 聡	甲田 憲幸	伊藤 健一
坂川（代理）	中 英美	舟根 秀也	村田 芳朗	

<u>1 開会</u>	
●事務局	<p>数名の方がまだお見えになっておられないのですが、定刻になりましたのでただいまから、第 1 回黒部市総合振興計画審議会を開会いたします。私は本日の司会を務めさせていただきます。黒部市企画情報課の藤田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず初めに、審議会委員並びに専門委員の皆さま方に対し、委嘱書の交付を行いたいと存じます。時間の都合上、市長からの交付は代表の方 1 名のみとさせていただきます。代表しまして、審議会委員に応募をされました高橋さんに委嘱状を交付させていただきますと存じます。その他の方々につきましては、誠に恐縮でございますが、自席の方に委嘱書をご用意いたしましたので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。</p>
<u>2 委嘱書の交付</u>	
●市長	委嘱状、高橋鮎美。黒部市総合振興計画審議会委員を委嘱する。令和 3 年 11 月 25 日黒部市長大野。
●事務局	ありがとうございました。審議会委員並びに専門委員の皆さま方には、今後の審議、運営等につきまして、格別のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。続きまして、大野黒部市長からご挨拶を申し上げます。
<u>3 市長あいさつ</u>	
●市長	<p>おはようございます。我々黒部市民がこよなく愛しております、名水の里、黒部もいよいよ晩秋の中に、初冬の気配を色濃く感じるようになってまいりました。</p> <p>そうした中で、本日は第 1 回目となります、黒部市総合振興計画審議会を招集いたしましたところ、皆様方には万難を排して、ご列席賜り誠にありがとうございます。</p> <p>ただいま皆さま方に委嘱書を交付させていただきました。今日を皮切りに予定では、来年の 9 月末ぐらいまでのご審議をいただき、およそ 10 ヶ月間策定作業に入っていただくこととなります。考え方によっては長い期間ではありますが、それだけ重要な任務をお持ちいただくお仕事であると言うふうにご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>この際、総合振興計画。この必要性和重要性が、どのようにあるのかということをお踏まえて少し歴史を振り返ってみたいと思っております。昭和 20 年、古い話ですけど、8 月、先の大戦が終了しまして、我が国では混乱と虚脱状態の中にありました。いかにして、この日本を復興させるのか。いうことで、昭和 25 年に国土総合開発法が制定されまして、その法律に基づき、昭和 30 年代、40 年代、50 年代、だいたい 10 年くらいのスパンで全国総合開発計画が打ち立てられて、国土づくりがなされて今日に至っています。30 年代はいわゆる旧全総、旧全国総合開発計画、そして新全総、三全総というふうに進んできたわけでありまして。この国づくりに呼応するように、今色々合併が進みまして、全国の市町村というのは、1710 余数ありますが、都道府県も含めて、それぞれ</p>

がそれぞれの立場で、総合振興計画なるものを打ち立ててまちづくり、地域づくりに励んできたわけであります。

我が黒部市は、平成 18 年 3 月 31 日新市が誕生いたしまして、今年でちょうど満 15 歳、15 周年という、ある意味では節目の年を迎えております。この中で、第 1 次総合振興計画 10 年を終え、その成果と教訓の上に第 2 次総合振興計画を只今進行中であります。現在は第 2 次、10 年間のスパンのうち、前期計画を進めておりまして、その前期 5 年間の最終年が来年、令和 4 年度となります。つまり皆さま方にご審議いただきます、策定いただきます作業はその後、令和 5 年度から向こう 5 年間の後期計画をどう立てるか、言い換えれば、その 5 年間どう黒部市づくりをしていくのか、そのことの基本計画作業にあたっていただくこととなります。従って、私から申しますと、令和 4 年度という年は、前期の締めめの年であり、新たな後期 5 年を始めるための準備の年として、極めて大事な年度になるわけであります。この 10 年のスパンが非常に長いので、社会の変化は激しいです。時にはローリングというふうにして少し見直ししながら進めることも事実ではありますが、例えば今の前期計画を見ますと、およそこの計画を立てたときには、新型コロナウイルス感染症と誰も考えてませんでした。そのことを受けて、後期計画をどうするかということも 1 つの大きな変化であります。さらには、デジタル化が進みまして、私自身もここまでスピード感をもってくるとは思いもしませんでした。DX にどう対応していくかというのがひょっとすると後期計画の大きな黒部市づくりの柱になるかもしれません。

今回、多くの方々に、後期 5 年間の計画を策定するために、審議委員となっただきました。大変私からは、生意気なことを申し上げますが、決してオールラウンドプレイヤー、オールマイティな委員を選んだつもりはありません。むしろ黒部市を良くしていきたい、黒部市民として色々なこと頑張りたいと思ってる方々の代表で、それぞれの分野で精通した方々にお集まりをいただいたこととなります。

ですから、皆さま方が今のお立場でこのことについては是非述べたい、このことについてはぜひ新たな黒部市づくりに対応してほしいという思いを率直に述べられたら策定作業に入っていただければいいと思っております。

決して堅苦しい審議会でもありません。ぜひこれから選ばれる会長さんを中心となりまして、来年の 9 月素晴らしい基本計画ができることを私は期待をいたしております。

その間、皆さま方にはどうぞお体に十分ご留意にされまして、益々のご活躍をご祈念申し上げるとともに、この審議会にしっかりいろんな思いを出していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

4 委員及び専門員の紹介

●事務局

本日は第 1 回目の会議でございますので、本来であれば、ここで審議会委員並び

	<p>に専門委員の皆さま方をご紹介させていただくところでございますけれども、大変恐れ入りますが、時間の都合上、名簿と座席図をもってご紹介に代えさせていただきたいと存じます。</p> <p>なお本日の出席状況につきましては、審議会議員 48 名のうち、41 名の方々、また専門委員 10 名のうち 9 名の方々にご出席をいただいております。また、市側の出席者につきましても、名簿並びに席図をもって紹介に代えさせていただきます。</p> <p>また、事務局を務めますのは、企画情報課の職員でありますので今後ともよろしくお願いいたします。</p>
	<p><u>5 会長の選出</u></p>
●事務局	<p>次に会長の選出に入らせていただきます。末尾資料の参考黒部市総合振興計画審議会条例をご覧ください。審議会条例第 5 条第 3 項の規定によりますと、会長は会務を総理し、会議の議長となる、としておりますが本日は初めての会議でございますので、会長が決定するまでの間、慣例によりまして、大野市長に、会議の進行をお願いしたいと思っております。市長よろしく申し上げます。</p>
●市長	<p>それでは会長が選出されますまで、短い時間だと思っておりますが議長の職を務めますので、よろしく申し上げます。これからは着座にて失礼します。</p> <p>それでは早速でございますが、この大きな審議会でございますが、会長の選出に入りたいと思っております。どなたかご意見ございますでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。どうぞご発言ください。</p>
○A 委員	<p>もし事務局で案があればそちらを御提示いただければと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
●市長	<p>ありがとうございます。そういうご提案でございますが、委員の皆さま方いかがでしょうか。ありがとうございます。それでは恐れ入りますが、事務局から提案をさせていただきます。</p>
●事務局	<p>それでは、事務局案を発表させていただきます。富山県内外、自治体の様々な計画に携わってこられた経験をお持ちであり、黒部市においても、市庁舎や(仮称)市民交流センター建設の基本構想、また、第 1 次黒部市総合戦略および人口ビジョンの策定にご尽力いただきました、黒部市の事情に非常に精通しておられます富山大学の副学長であります中村和之様に会の取りまとめ役である会長職をお願いしたいと考えております。</p>
●市長	<p>はい。ただいま事務局から、黒部市に大変精通をされております、富山大学の中村副学長さんにこの会議の会長という提案であります。いかがでしょうか。</p> <p>(一同拍手)</p> <p>拍手全員で承認されました。それではこの後は、中村会長さんよろしく申し上げます。</p>
●事務局	<p>それでは中村会長から一言ご挨拶をいただきたいと思っております。</p>

●中村会長	<p>はい。ただいま会長に選出いただきました富山大学の中村でございます。</p> <p>大学では学生の支援、研究の方では財政を研究しております。総合振興計画の後期基本計画を取りまとめる審議会の会長として、責任の重大さを感じているところでございます。黒部市でございますが、私自身が考えますに、自然、文化、産業のそれぞれの各面で非常に高いポテンシャルを持っている自治体だというふうに考えております。</p> <p>これまでもそのポテンシャルを活かしながら黒部市、発展してきたというふうに考えておりますが、今後さらに発展をするためにも基本計画の役割、非常に大事なのかなというふうに考えております。既に基本構想は策定されていると、その後期の取り組みということで、今後社会はですね、激変していくという中で、我々、どのように対応できるのかということを考えていくというのが非常に大事なのかなというふうに考えております。人口が減少する中、コロナウイルスの感染拡大であるとか、あるいは気候変動というのが我々の富山の土地にも大きな影響を及ぼしつつあります。</p> <p>そのような中で、安全安心かつ、将来展望を見通せるような将来世代のための基本計画ということを策定するのが我々の義務かなというふうに思っております。それぞれの皆様の専門的なお立場、ご見識を結集して、より良いものを作り、それを市民の方々にわかりやすく伝えていくという作業が何よりも求められているというふうに考えております。皆様のご協力をいただきながら、より良いものにしていきたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。</p>
6 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画策定の諮問	
●事務局	<p>ありがとうございました。次に、後期基本計画の諮問に移ります。市長から会長に対しまして、諮問をさせていただきます。</p>
●市長	<p>第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定について。市政伸展と市民生活の向上を推進するため、これからのまちづくりを導き実現していくための総合的な指針として、第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定を諮問します。よろしくお願い申し上げます。</p>
●中村会長	<p>ただいま市長から諮問書を頂戴いたしました。後期基本計画の策定にあたりましては、一連の作業もでございますので、この後の審議の中で事務局からあわせて説明を受けたいと思います。よろしくお願い申し上げます。</p>
●事務局	<p>はい。ここで市長は別の公務のため退席をさせていただきます。</p>
7 審議事項等	
(1) 副会長の指名について	
●中村会長	<p>はい。それではこの後の会議の進行につきましては、私の方で進めたいというふうに思います。ご協力よろしく願いいたします。それでは次第でございます。7番目の審議事項等に移ってまいりたいと思います。</p> <p>審議事項の両括弧1の副会長の指名でございますが、審議会条例第5条第2項</p>

	<p>の規定によりまして、会長が指名するということになってございますので、私の方から指名させていただきたいと思えます。</p> <p>副会長には黒部商工会議所の川端委員にお願いしたいと思います。皆様の拍手でご確認いただければ幸いです。ありがとうございます。</p> <p>(一同拍手)</p> <p>それでは川田副会長には一言御挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
●川端副会長	<p>ただいま会長から指名をいただきましたいただきまして、副会長を務めさせていただきます川端でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
●中村会長	<p>はい。よろしくお願いいたします。</p>
<p><u>(2) 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定について</u></p>	
●中村会長	<p>それでは次の議題に移ってまいりたいと思えます。両括弧2でございます第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定についてでございますが、事務局の方からご説明願います。</p>
●事務局	<p>(資料1により説明)</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。ただいま第2次黒部市総合振興計画後期基本計画の策定についてということで、事務局からご説明をいただきました。基本構想の枠組みはそのまま踏襲しながら、現在出ているあるいは今後出てくると予想される新たな課題に対応するために今後5年間の基本計画を策定するというのがその趣旨かと思えます。</p> <p>またその際には実効性を持たせること、それからPDCAをきちっと回してしっかりと検証できるようなものにしていきたいということでございます。ただいま事務局からご説明いただいた点につきまして何かご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>よろしいでしょうか。はい。それではただいま事務局からご説明いただいたようなフレームで、策定を進めるという形でこの場での理解を共有させていただいたということにさせていただきたいというふうに思えます。よろしくお願いいたします。</p>
<p><u>(3) 計画策定の体制及びスケジュールについて</u></p>	
●中村会長	<p>それでは続きまして、両括弧3でございます。計画策定の体制およびスケジュールにつきまして、事務局の方からご説明を願います。</p>
●事務局	<p>(資料2により説明)</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございました。ただいま体制とスケジュールということでご説明をいただきました。</p> <p>今ほどご説明ございましたように、今後、6つの部会に分かれてそれぞれご議論を深めていただくということになってございます。委員の皆さま方の部会の所属つきまし</p>

では、審議会の会長が指名するということになってございます。事務局案をもってそれぞれ指名をさせていただくということにさせていただければというふうに思います。部会の所属につきましては何卒ご了承いただければ幸いでございます。

スケジュールにつきましては、都合部会を4回開催をするということで計画をしているということでございます。全体会議につきましては、今回、それから次はもう中間報告、それから3回目の最終の取りまとめという形で予定をしているというところでございます。このような推進体制、あるいはスケジュールにつきまして何かご質問ご意見等ございましたら、お聞かせいただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。

(質問・意見なし)

よろしいでしょうか。はい。それではですねこのような体制・スケジュールで進めさせていただければというふうに思います。私の方から1つ要望なんですけれども、それぞれの部会でご議論いただくときに、おそらくあの複数の部会にまたがるようなことも出てくるかなというふうに思います。事務局におかれましてはそういう各部会での議論の状況等、必要に応じて他の部会でも共有していただくということは心がけていただきたいなというふうに思います。

また、それぞれの部会で専門的なご議論を深めていただくと同時に、全体を横串に刺すような視点も必要かなというふうに思いますので、そういった点も我々今後考えていかないといけないかなというふうに考えております。そういったところでもご意見があればぜひお聞かせいただきたいければというふうに思います。それではこのような体制・スケジュールで進めさせていただくということでお認めいただいたということにさせていただきます。

(4) 市民アンケート結果の概要について

●中村会長 では、次の議題に移らせていただきます。両括弧4でございます。市民アンケート結果につきまして、その概要を事務局の方からご説明をお願いいたします。

●事務局 (資料3により説明)

●中村会長 はい。ありがとうございました。ただいま本基本計画を策定へ進めるにあたってのアンケート調査を実施していただいた、その結果を概要でございましてご説明をいただきました。こちらにつきましては、このアンケート結果を参考にしながら今後、基本計画を策定していくということになろうかというふうに思います。現段階で何か、このアンケートの結果等につきましてご質問、あるいはこれを踏まえてのご意見等ございましたらお聞かせいただきたいと思っております。

また今回は全体として今後の枠組みだとかスケジュールについての説明がほとんどで、なかなか皆さま方からご発言いただく機会がございましたので、このアンケートに関わらず、今後、我々として基本計画を策定する上でどのような形で臨んでいくべきか、あるいは問題意識等につきましてもあわせてご発言いただければとい

	うふうに考えております。どなたからでも、どこからでも結構でございます。いかがでございますでしょうか。
○B 委員	すみません。申し訳ございませんが、この満足度が書いてあるやつが、ほとんど何書いてあるかわからないんです。もう少しわかりやすく大きくやってもらいたいと思います。
●中村会長	はい。ありがとうございます。少し文字が細かすぎて見づらいというところでございます。
○B 委員	ほとんど読めないです。
●事務局	大変見にくくて申し訳ございませんでした。これにつきましては、そのアンケートの4ページですね、アンケート4ページの左部分、大変小さくて読みにくいと思います。これにつきましては、もっと大きくしてわかりやすいものですね、後日送らせていただきたいと思います。誠に申し訳ございません。
●中村会長	はい。よろしく願いいたします。その他何かございませんでしょうか。 はい、お願いいたします。
○C 委員	すいません、Cと申します。 アンケートとその後の後期基本計画についての質問をさせていただきます。 まずアンケートでいきますと、19ページのところで、黒部市の好きではないところで一番多かったのが交通の便が悪いということで50%超えてるんですけども、まずは、ここについて財政のバランスかなとも思うんですけども、この50%を超えていると交通の便が悪いことに関して、どのように対応していく方針でしょうか。
●中村会長	はい。ありがとうございます。事務局の方で今、何か現在取り組まれている政策、あるいは今後の方向性といったところで、もし何かがあればお聞かせいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
●事務局	交通の便が悪いってことで50%の方が、このようにお答えになっていることもかなり大きなことと思っております。公共交通につきましては整備をいたしているわけですが、なかなかご利用されることが少ないということもございます。こういった市民の方々のご意見を踏まえて、それぞれ今後の分野の中で、ご議論いただき、市のあるべき方向というのを見出していただければと考えてございます。
○C 委員	ありがとうございます。あとこのA3の横の令和2年度実績報告書黒部市総合戦略、こういう質問してもよろしいですか。これの1番後ろの数字のところなんですけれども、後期考える上で前期の統括もというお話だったので、お聞きしたいんですけども、1番後ろの16ページ2番、交流を促進し、人を呼び込む地域をつくるのところで、年間の社会増減数、目標はプラス30人、令和4年度ですけれども、令和2年度ですね、マイナス32人、プラスの目標がマイナスになってたんですけども、これの原因等を黒部市としてのここに対する取り組みも併せた評価というのはどういう評価を

	されてますでしょうか。
●中村会長	はい。ありがとうございます。交流人口のところでございますが、事務局の方で、今委員のご指摘のところは把握できてますでしょうか。
●事務局	総合戦略の令和 2 年度実績の方でございます。ここにつきましては、そうですね令和 2 年度、実際のところ転入転出につきましては細かな詳細な分析も必要なところでございますが、大きくお越しになる、転入される方も少なく、転出される方も動きが少し鈍くなったのは令和 2 年度だったと思っております。こちらにつきましては、移住施策色々な分野に関わっておりまして、例えば雇用の問題ですとか、他地方移住を進める全般的な移住施策が大きく関わっているところがございます、1 つの雇用といったような分野にすることなく、全庁的にこの数値の分析を今後もより詳細に少し検討していきたいと考えているところがございます。
○C 委員	ありがとうございます。あと後期の計画で、あのデジタル化というキーワードを入れなくてはいけないと市長とかも言われたんですけども、今現在、足元でデジタル化の取り組みを行政内、市役所内でのデジタル化の取り組み、あと市民目線で利便性向上のための何か、ニーズがあることに対するデジタル化の取り組みという、デジタル化の足元の取り組み状況はどういう状況でございますでしょうか。
●中村会長	はい。お願いします。
●事務局	市議会の方でもデジタル化推進特別委員会というものを設置をされました。 事務局の方でも、それにきちんと対応していくために、デジタル化推進プロジェクトチームというのを庁内組織としまして、全庁横断的に組織をいたしました。そこでは、国、県が予定しておりますところのデジタル化に関することに関しまして、きちんと市として対応していくということが 1 つ。それから市民のサービス向上事務効率改善になるような、そういったデジタル化の取り組みについても市独自にも色々考えてやっていきたいということで、職員の中からまずは色々なアイデアを出し合って、それを本当に活かせるものかということも議論しながら、具体的に予算化も見据えて、そういった黒部市の将来にとってのデジタル化どうあるべきかということを現在検討している最中でございます。
○C 委員	ありがとうございます。ぜひ具体的に何かするって決めて、それらの実績として後期の時に出していただけたらなと思います。あと観光関係なんですけれども、交付金を期間中には、2024 年には北陸新幹線が敦賀まで延伸されます。途中で加賀温泉駅ですとか芦原温泉駅って、温泉駅が 2 つできてくると思うんですけども、そういう敦賀の延伸されるタイミングがこの後期にも入るので、それに対する宇奈月温泉駅を中心とした黒部市の新しい取り組み、もしくは取られない対策というのを検討したら、必要があるのかなと思うんですけども。足元そういう取り組みとか検討状況とかいかがでしょうか。

●中村会長	はい。もし事務局の方で今お答えできるようなことがあれば、お答えください。
●事務局	はい。その2024年の敦賀までの延伸の前にも、例えば宇奈月温泉街の開湯100年、それから黒部ルート的一般開放等、観光分野では様々なイベントと申しますか、大きな動きがあります。そういったものも含めまして、それぞれ観光分野の団体さんの方で何をすべきか、どうすればいいか、ということを考えておられますので、そういったものも含めて後期の基本計画に盛り込まれていくものというふうに思っております。
●中村会長	ありがとうございます。委員いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
○C委員	はい。ありがとうございました。
●中村会長	<p>はい。4点ほどご指摘いただいたのかなと思います。1つは公共交通の問題で、これはもう地方都市、全国の地方都市で共通する問題なのかなというふうに思います。様々な解決の方向性というはあるというふうに思っているんですけども、まず現状どうなのか、あるいは公共交通の不便さといってもそれぞれ利用者、あるいは利用の世代ですね、事によって違ってくるというふうに思いますので、そのあたりしっかり整理していただきながら部会で議論を深めていただければいいのかなというふうに思います。</p> <p>それから人口の問題。直近ですすねようやく国勢調査の、前回の国勢調査の、今回ですすね、国勢調査の人口が出てきて、これもこの実態を詳しく見た上で、社会増減あるいは自然増減の傾向、あるいは地区別の人口の増減、世帯数の増減みたいなものも含めて、考えていかないといけないのかなというふうに思います。</p> <p>これはもう全ての部会に影響を及ぼすようなことですので、まず我々が議論できるような形で事務局には資料の取りまとめをお願いするとともに、各部会でも積極的なご議論いただくということが大事だというふうに思っております。</p> <p>デジタル化も新型コロナウイルス感染の感染拡大ですすね、5年先、あるいはひょっとしたら10年先まで実現しないかなと思ってたことが一挙に実現したと、実現ということに対応せざるを得なくなったと、いうところがございますので、これをよりチャンスととらえ今後黒部市におかれましても、デジタル化を一層推進していくというところが必要なのかなというふうに思います。これはもうやはりデジタル化によってユーザー層へのぶ厚さっていうのがポイントになると思いますので、やはりあの市民全体での取り組み、あるいはそれを巻き込んだ形での施策というのが大事になるかと思うので、こちらもおそらく多くの部会で関係してくることになりますというふうに思いますので、それぞれの部会でデジタルというキーワードで、今後基本計画で考えていかねばならないこと、ご議論いただくというのが大事かなというふうに思います。</p> <p>最後の観光でございますが、こちらは今コロナの影響で大きな影響を受けているかというふうに思いますが、コロナの感染を経た新しい観光の形っていうのがどのようなものになるのかっていうのは、しっかり見据えていただいて、県内でもやはり有数の観光資源を持っていらっしゃるという黒部市ですから、そこは黒部市自身にとっても大事</p>

	<p>ですし、県内のリーディングプロジェクトになれるようなものをしっかりと考えていくっていうのが我々の役目かというふうに思います。</p> <p>事務局におかれましては、現状の取り組み等をしっかりと整理していただいた上で、各部会での議論が深まるような形でご準備いただければと思いますのでよろしくお願いたします。ありがとうございました。いかがでしょうか他に何か、はい、お願いたします。はい、D 委員です。</p>
○D 委員	<p>黒部市の空き家問題なんですが、データが見られるのかどうか。それとこの空き家問題の原因の 1 つには未相続問題というのがあると思うんです。例えば里山が荒れているってということも、未相続問題から発生していく可能性もある、多分そうだと思うんですが、そのような未相続問題が空き家問題の 1 つの重要な要因だというふうに推定されます。それで去年ですかね、民法改正がありました。まだ施行されていませんが、相続登記が義務化されることが決まっています。そういうことも合わせて空き家問題について検討する必要があると思います。</p> <p>それからもう 1 つ、黒部市特有の問題、他のところとちょっと違う空き家問題が 1 つあると思います。それは何かというと、ゴミかわからない。ここはちょっと散居村タイプなんですね。散居村タイプなので、敷地とその市道部の関係が市道に面してないところもあるんじゃないかと。そうすると、この問題のそういうところで空き家になってしまうと、しかも散居村タイプのところは敷地が、1 つの敷地がすごく広い。300 坪、400 坪 500 坪とかいうのがざらにありますね。そこが空き家問題で空き家になってしまう。そして荒れ放題になってしまう。そうすると道路との繋がりがないと、再利用が非常に困難になる。というような空き家問題でも、もう 1 個深刻な問題があるのではないかなというふうに思います。こういう計画の中にもそのような視点を入れていただきたいというふうに思います。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。空き家問題これもやっぱり全国の大都市圏あるいは地方圏限らず人口の減少、それから世帯数の減少で生じている大きな問題なのかなという思います。1 つは空き家をしっかりと流動化させて次の世代に引き継いでいくということが大事なんですけれども、委員おっしゃられた相続の問題であるとか、それからご自身の代でですね、自分の家を手放すっていうことに対する抵抗感みたいなものも結構あって、なかなか流動化が進まないっていうことも聞いております。このあたりのところも、部会等でご議論またいただければというふうに思います。よろしくお願いたします。ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。他に何かございませんでしょうか。はいお願いたします。</p>
○E 委員	<p>すいません。私が質問しているのちちょっとわかりませんが、基本的な部分で KPI の表ですね。それをあの基本構想があって KPI の表ができてと思うんですけども、前期の積み残しの部分とか色々情勢が変わってる部分で、こういう指標を変化さ</p>

	<p>せても、変えていっても、後期の部分でいいのかどうかという部分と、例えば目標数値の中で、当然その達成が完全に難しいなと思われるものも出てくるかと思うんですけども、そういう部分での見直しも含めて考えていけばいいのでしょうか。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。当然見直してというのはあり得るのかなというふうに思うんですけども、事務局の考えとしていかがでしょうか。</p>
●事務局	<p>どういう考え方で KPI を設定したかということについては、きちんとそれを踏まえた上で、今後もそれを参考にしてということもありますし、色々な状況も変わってきておりますので、新たな指標を設定するといったこともあるかと考えております</p>
●中村会長	<p>はい。フレキシブルに対応していかなければならないということなのかなというふうに思いますので、我々 KPI 設定してしまうとそれでおしまいになっちゃうというきらいがあるときがあるんですけども、これしっかり見て、でその数字が達成できていないんだしたらそれはなぜなのかっていうところはしっかり分析していく必要があるのかなと思いますので、またこちらも部会でより良い KPI あるいは KPI にせずとも指標があれば、そういったものについてもご議論いただきたいと思っておりますし、進捗管理で、とても達成無理だっていうのもあるのかもわかりませんが、もしかしたらもうこれ達成してしまったからさらに高いところを目指そうというものもあろうかと思っておりますので、ぜひそこはこれからの政策の重要性、あるいは緊急度、それから今回市民アンケートで出た満足度等も含めて、KPI と市民の満足度の整合性みたいなのところも併せて考えればなと思います。ありがとうございます。</p> <p>その他に何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい。なかなか大勢の皆様でご参加されている会議でございますので、若干発言しにくいというところはあるかもわかりませんが、もし何かございましたら、書面でも結構でございますので、事務局の方でお寄せいただければというふうに思います。</p>
8 その他	
●中村会長	<p>それではですね、議題の最後でございますが、その他について事務局の方からお願いいたします。</p>
●事務局	<p>それでは今後のことなどについて申し上げたいと思っております。次回からの審議につきましては、今ほど決定させていただきました部会別に開催をいたします。なお、日時、会場につきましては、1 月の下旬を目途に平日の日中で約 2 時間程度の会議を開催したいと考えておりますので、追ってご案内をさせていただきたいと存じます。</p> <p>また本日の会議もしくはそれ以外でも、総合振興計画に係るご意見、ご質問がございましたら、本日お配りした意見、提言の用紙がございますけれども、これにご記入をいただきまして、FAX など事務局までお知らせをください。</p> <p>さらに本日は参考資料として、第 2 次総合振興計画前期基本計画および第 2 期総合戦略の令和 2 年度実績報告書をお配りしておりますので、お持ち帰りいただけます</p>

	<p>て、お目通しいただければと思います。その他につきましては以上でございます。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。今ほど事務局からご説明ありましたように何かご意見、あるいはご質問ございましたら、随時、事務局の方にもお聞かせいただければというふうに思います。皆様のご意見やご質問等がより良い総合振興計画の策定に繋がるものと確信しておりますのでぜひ積極的なご参加をお願いできればというふうに考えております。</p> <p>何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい。それでは引き続きよろしく願いいたします。では本日用意いたしました議題は以上でございます。これで議長の役目を終了させていただきたいと思います。委員の皆様には議事の進行に大変ご協力いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>それでは事務局にお返しいたします。</p>
●事務局	<p>はい。中村会長どうもありがとうございました。お知らせをいたしたいと思います。</p> <p>お手元にですね、緑色のチラシがあるかと思います。明日 11 月 26 日金曜日、午後 7 時から、タウンミーティングを開催いたします場所はコラーレのカーターホールになります。お時間の許す方はご参加いただければ幸いです。</p> <p>それでは以上をもちまして第 1 回黒部市総合振興計画審議会を閉会させていただきます。委員の皆様には大変ありがとうございました。</p>
<u>9 閉会</u>	